

ピース・ウイング長崎

平和のあゆみ

(令和2年度 事業報告)



初めてユニフォームに袖をとおした平和案内人第7期生

公益財団法人 長崎平和推進協会

Nagasaki Foundation for the Promotion of Peace

Contents

公益財団法人 長崎平和推進協会	1
設立の意義	
沿 革	
事 業	
会 員 制 度	
組 織 図	
みんなで平和の輪を広げましょう！	
会員制度について	2
寄附金について	2
Ⅰ 平和推進事業	
1 発刊	3
2 平和意識の啓発	4
3 被爆体験を継承する人材育成	7
Ⅱ 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業	12
Ⅲ 収益事業	14
会員制度 賛助会員一覧	14
公益財団法人 長崎平和推進協会 この一年の動き	15



公益財団法人 長崎平和推進協会

設立の意義 ※設立趣意書から掲載

原子爆弾の惨禍を身をもって体験した長崎市民は、国境を越え、人種を超え、考え方の相違を乗り越えて、全世界に向かって恒久平和の実現を訴える責務があります。

全ての社会秩序の根幹は平和であり、平和でなければ、文化の向上も、科学の進歩も、経済の発展も望めません。しかし、現実の世界情勢は、核兵器の増加拡散が、また局部的な紛争や東西間の緊張がとどまることなく続いています。

長崎市は人類史上最後の被爆地でなければなりません。長崎市民は、全人類的な視野に立って、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に寄与するとともに、人類の福祉に貢献することが必要であると考えます。

沿革

長崎市は、原爆被災都市ナガサキの使命として、従前から長崎市の固有事務として各種の平和推進のための施策を行ってきました。

しかし、行政独自では種々のあい路があることから、この施策をさらに効果的に施行するために、昭和58年2月、広く市民の参加を求め、初代理事長 秋月辰一郎氏の「小異を残して大同に集まる」という理念のもと官民一体となった任意団体長崎平和推進協会を発足させ、被爆体験の継承をはじめ、平和に対する意識高揚のための事業に取り組んでまいりました。

長崎市民の悲願である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現という究極の理念達成のためには、さらに確固たる目的をもって永続性のある公益性の高い平和推進体制を樹立し、文化を基調とした事業を通じて、幅広い見識と高い知性の国際感覚に優れた市民を育成することが望まれます。

このような理由から昭和59年4月1日、財団法人長崎平和推進協会を設立しました。以来、長年にわたって被爆体験講話をはじめさまざまな平和推進事業を展開してきました。平成21年4月1日には、財団設立25周年を

迎え、同年度中には記念式典や継承シンポジウムなど多彩な記念事業を行いました。

そうした中、100年ぶりともいわれる公益法人（財団法人・社団法人）の制度改革が行われることになり、平成20年12月1日には公益法人改革関連3法が施行されました。当協会は、業務の内容や組織の性格からも公益財団法人に移行することを目指し、2年間ほどの準備を経て、平成23年4月1日に公益財団法人として設立することができ、新たな歩みを始めました。

事業 ※定款から掲載

- 平和に関する諸問題の調査研究
- 原爆被災並びに平和に関する資料の収集、整理、活用及び情報発信
- 被爆体験の継承並びに平和に関する講座、講演会等行事の開催
- 国際平和機関との連携交流
- 被爆体験の継承や平和意識高揚のための助成事業
- 平和に関する出版物の刊行・頒布及び受託販売
- 平和意識の普及に係る物品等の製作・販売
- 法人の目的に適合する諸施設の管理運営等に関する受託事業
- その他法人の目的を達成するために必要な事業

会員制度

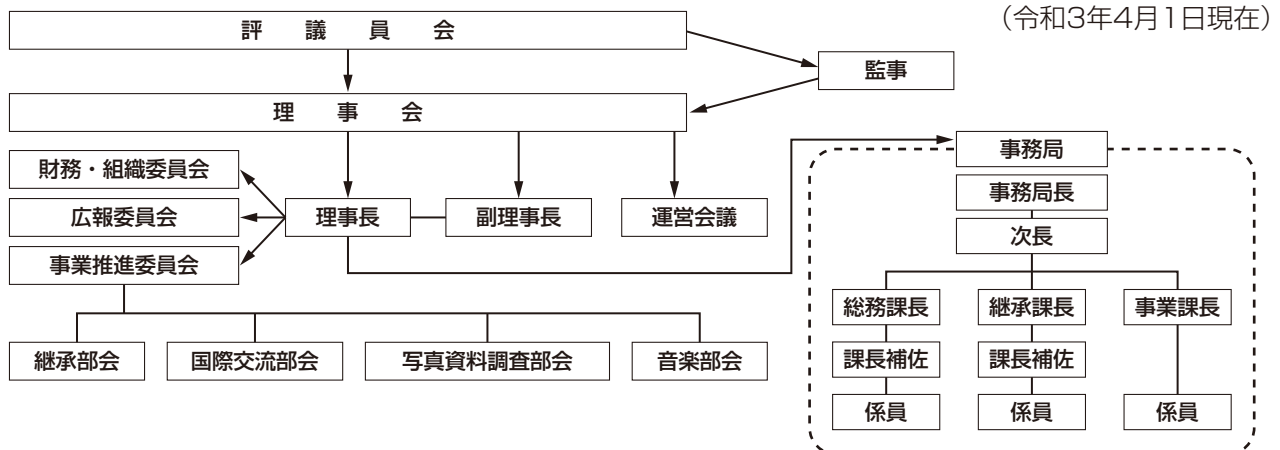
会費	維持会員（個人）	年額	3,000円以上
	賛助会員（団体・個人）	年額	1口10,000円
	学生会員	年額	1,000円以上
	（会員について詳しくはP2をご参照ください）		

会員による部会活動

会員が協会の事業目的を広く周知啓発するとともに円滑な事業遂行に寄与する。

- ①継承部会
- ②国際交流部会
- ③写真資料調査部会
- ④音楽部会

組織図





公益財団法人 長崎平和推進協会

みんなで平和の輪を広げましょう！

会員制度について

長崎平和推進協会は、長崎の願いである“核兵器廃絶と世界恒久平和”の実現を目指して活動しています。核兵器の恐ろしさや平和の尊さを次の世代に伝えていくために、協会が行う様々な平和への取り組みを支えていただく会員を募集しています。

会員制度には、個人の方を対象とする「維持会員」、団体・個人の方を対象とする「賛助会員」、「学生会員」の3つがあり、皆様からいただいた会費で協会は成り立っています。

【会員制度と登録者数（令和3年3月31日現在）】

会員制度	年会費	登録者数
維持会員	3,000円以上	988
賛助会員	1口10,000円	155
学生会員	1,000円以上	11

※賛助会員（法人・団体）の一覧はP14をご参照ください。



長崎平和推進協会シンボルマーク

平和のシンボル「はと」を官と民を示す両手が受け止めている様子を表しています。

【会員特典】

- ・ 会員証とバッジ送付 ・ 会報「へいわ」送付 ・ 協会主催の講演会等（P6参照）への優先来場
- ・ 長崎原爆資料館内「ピースカフェ」5%オフ ・ 出版物やオリジナル商品（P14参照）10%オフ
- ・ 石窯工房AGRI、元船石窯パン製造所ベッカライナガサキでのパン10%オフ
- ・ 長崎の感動する中華料理店 寶來軒でのデザート類割引サービス

【会費の税額控除について】

協会会費は、「税額控除」の対象となります。確定申告の際に「会費領収証（振替払込請求書兼受領証）」と「税額控除に係る証明書」をご提出ください。「税額控除に係る証明書」は、協会ウェブサイト（<https://www.peace-wing-n.or.jp>）の「会員募集」のページより、ダウンロードできます。

確定申告についての詳細は、お近くの税務署までお尋ねください。

寄附金について

当協会は特定公益増進法人に該当するため、寄附者は寄附金控除を受けることができます。確定申告時に、当協会が発行する「寄附金領収証」及び当協会所管庁が発行した「税額控除に係る証明書」を添付することで、所得税及び法人税の優遇を受けることができます。

詳しくは、協会ウェブサイト「寄附金募集」をご参照ください。

令和2年度 寄附者一覧（敬称略・金額順）

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| ・ 長崎市立商業高等学校 商業クラブ (36,973円) | ・ 山脇 佳朗 (50,000円) |
| ・ 北城 祐二 (27,000円) | ・ 緒方 操 (10,000円) |
| ・ 上西 和紀 (10,000円) | ・ 川上 正徳 (10,000円) |
| ・ 白鳥 純子 (10,000円) | ・ 木下 セツ (10,000円) |
| ・ 森田 博満 (10,000円) | ・ 山中 弘幸 (10,000円) |
| ・ 富永 大介 (5,000円) | ・ 中原 巖 (1,000円) |
| ・ 匿名寄附11件 (46,000円) | |
- [合計245,973円]

I 平和推進事業

1 発刊

① 会報「へいわ」の発行（年4回）

令和3年3月現在 169号発行

協会の事業活動や平和に関する最新情報を提供するとともに、会員のコミュニケーションを図るための機関誌として、会報「へいわ」を発行しています。

会員や関係各機関への送付のほか、広く市民の平和意識の高揚を図る観点から、多くの市民が閲覧できるように、100号以降を協会ウェブサイトに掲載しています。

1回あたりの発行部数 2,300部（A4判8ページ）



② ブックレット「平和のあゆみ」の発行（年1回）

協会が行った事業内容等をまとめたブックレット「平和のあゆみ」を毎年発行し、会員や関係各機関へ送付しています。

昭和61年から平成16年までは協会設立以降の事業等を紹介するA5判でしたが、平成17年度からは1年間の出来事を中心とする体裁に改めました。

1回あたりの発行部数 2,000部（A4判16ページ）



③ 広報活動

【情報BOXの発行（月1回）】 令和3年3月現在 247号発行

会報「へいわ」発行の合間に、イベント開催予定などの最新情報の他、実施した行事の報告などを掲載した「情報BOX」を、理事・監事・評議員、部会員などに毎月送付しています。

協会ウェブサイトからも閲覧できます。

1回あたりの発行部数 約150部（A4判・両面1枚）



【協会会員入会案内リーフレットの作成】

協会の事業内容の紹介とともに、事業活動の状況や会員の特典などを説明した「協会会員入会案内パンフレット」を作成しています。会員拡大を図るため、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館などで配布しています。

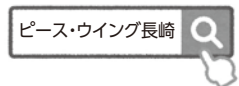


【ウェブサイト <https://www.peace-wing-n.or.jp/>】

協会の設立趣旨や事業概要などの紹介、被爆体験講話・平和案内人をはじめとする平和学習の申込方法の案内の他、会報「へいわ」やブックレット「平和のあゆみ」などを掲載しています。

また、協会発行の出版物やオリジナル商品などのインターネット販売も行っています。

※当協会の愛称「ピース・ウイング長崎」は広報紙や全国公募ガイドなどを通して呼びかけ、決定したものです。「長崎から平和を訴えていくための翼となってほしい」という願いが込められています。



【SNS等での情報発信】

LINEでは協会のイベント案内など最新のニュースのほか、会報「へいわ」や情報BOXに間に合わなかったお知らせなども案内しています。

Instagramでは情報発信のほか、青少年ピースボランティアなどによる連続企画にも取り組んでいます。

また新型コロナウイルス感染症の感染拡大で長崎を訪問できない方々に向けて、平和案内人らによる碑めぐり動画などを作成し、YouTubeで公開しました。



2 平和意識の啓発

① 平和学習（被爆体験講話）の実施

長崎市内で平和学習に取り組む小中高校や団体などから依頼を受け、被爆者（継承部会員）が自らの被爆体験や平和の大切さをお話する「被爆体験講話」を実施しています。

国内で新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し始めた2月末から修学旅行での予約の延期・キャンセルの連絡が相次ぎましたが、拡大防止のため、4月から7月末まで被爆体験講話の実施を中止しました。アクリル板の設置や座席の消毒、聴講者の事前検温など、感染対策に取り組みながら8月から活動を再開しましたが、修学旅行の中止や延期が相次ぎ、例年より少ない実績となりました。

「修学旅行は中止するが、平和学習は実施したい」とオンラインでの講話を希望する学校もあり、継承部会員は新しい方法での被爆体験講話に取り組みました。



被爆体験講話の様子

被爆体験講話の年度別件数

年 度	講話件数
平成23年度	1,352
平成24年度	1,342
平成25年度	1,312
平成26年度	1,355
平成27年度	1,369
平成28年度	1,227
平成29年度	1,253
平成30年度	1,191
令和元年度	1,168
令和2年度	495

令和2年度 講話件数・受講者数 内訳

区 分	講話件数			受講人数
	全体	うち市内	オンライン	
小 学 校	301	9	3	20,163
中 学 校	100	2	5	9,435
高等学校	80	1	6	11,678
一 般	14	6	3	1,079
計	495	18	17	42,355

※表中の「うち市内」は、
長崎市内の小学校・中学校・高校・一般の講話件数

【長崎県主催事業 被爆体験講話者派遣事業】

長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」では、被爆者（継承部会員）が県内市町の小中学校や県外の大学を訪れ、被爆体験をお話ししています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、県外への派遣が難しくなり、県外大学（留学生対象）での実施は中止となりました。また県内市町への派遣件数も、例年より少ない実績となりました。

県内市町（小中学生対象）派遣実績

派遣市町	実施日	受講人数
西海市	10月19日	25
大村市	11月25日	297

【被爆者証言ビデオ】

被爆75周年事業の一環として、被爆者証言ビデオを作成しました。継承部会員が被爆した場所や当時の自宅周辺などを訪れ、被爆前の生活や被爆直後の様子、家族の話、被爆後の暮らしなどについて語っています。

今後、継承部会員による被爆体験講話が急遽実施できなくなった場合の代替案として活用する予定です。

令和2年度撮影者

下平作江さん 深堀譲治さん 松尾幸子さん 山脇佳朗さん（計4人）



- 海外・県外での被爆体験講話（宮崎県日向市など）は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、派遣を見合わせました。

2 県外原爆展の開催

●長崎市からの受託事業

長崎県外の方々に、原爆の悲惨さや平和の大切さを知ってもらい、長崎市民の核兵器廃絶の願いを伝えるため、実施しています。

令和2年度は富山県高岡市で開催しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、継承部会員等の派遣は中止し、規模を縮小しての実施となりました。

九州大学での原爆展はオンラインでの被爆体験講話のみを実施し、同時に九州大学に在学する青少年ピースボランティアによる被爆の実相を伝える動画を配信しました。

また、原爆資料館内で「ふりかえる県外原爆展」を開催しました。

令和2年度の開催実績

富山県高岡市（写真展） 7月10日～7月12日（171人来場）

8月3日～8月7日（約300人来場）

九州大学（被爆体験講話）1月23日（208人参加）※写真等の展示は中止

「ふりかえる県外原爆展」 7月16日～27日（3,472人来場）



3 原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）の貸出

修学旅行などの事前学習の他、写真展の開催などに役立ててもらうため、原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）を無料で貸し出しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、被爆体験講話を実施できなかった学校などから、利用申請が多く寄せられ、例年以上の実績となりました。

令和2年度 写真パネル・DVD（ビデオ）貸出実績

区分	写真パネル	DVD（写真）	
	件数	件数	本数
小学校	5	31	82
中学校	1	39	84
高等学校	2	15	30
一般（自治体等）	8	20	37
計	16	105	233

※1回の貸出上限は、
写真パネル…1セット
DVD（ビデオ）…3本まで
となっています。
事前の申し込みが必要です。

4 講演会の開催

会員及び市民に世界恒久平和への諸問題について認識を深めてもらうため、講演会を実施しています。

令和2年度は被爆75周年を記念して、女優たちの原爆朗読劇「夏の雲は忘れない」特別編を8月30日に開催しました。長崎の被爆者による手記等を中心とした脚本に再構成された他、オーディションで選ばれた地元の子ども達7人も参加しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、入場者数を半分に制限し、資料館ホールの様子を平和学習室へオンライン中継する2会場での実施となりました。



<これまでの主な講演会（抜粋）>

開催日	講師（敬称略）	演題	備考
平成9年10月26日	吉永小百合（女優）	原爆詩朗読	国連軍縮週間講演会
平成11年7月28日	吉永小百合（女優）	第2楽章 長崎から	原爆詩朗読会
平成11年12月17日	吉永小百合（女優）	第2楽章 長崎から	原爆詩朗読会
平成15年7月25日	吉永小百合（女優）	原爆詩朗読	協会設立20周年記念 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館開館記念
平成16年2月25日	美輪明宏（歌手・タレント）	「愛と平和の祈りをこめて」	協会設立20周年記念
平成17年12月9日	なかにし礼（作家）	「自由から創造へ」	被爆60周年
平成21年2月6日	アグネス・チャン（歌手）	「みんな地球に生きる人」	協会設立25周年記念
平成24年2月18日	八名信夫（俳優）	「にぎりめしひとつ この平和を大切にほしい」	
平成25年3月16日	上條恒彦（俳優） 加賀美幸子（アナウンサー）	「平和朗読～明日、 あなたが語るナガサキ」	
平成26年2月9日	神田香織（講談師）	「はだしのゲンを語り続けて」	
平成27年2月7日	蓮池 薫（大学准教授）	「夢と絆」	
平成27年12月13日	カン サンジョン 姜 尚中（政治学者）	「ナガサキ」と「フクシマ」の間 ―核なき世界を求めて―	被爆70周年
平成29年2月19日	宮川泰夫（元アナウンサー）	であいふれあいひびきあい ～「のど自慢」12年の旅から～	
平成30年2月12日	一龍斎春水（講談師）	一龍斎春水が語る「火垂るの墓」	
平成31年2月10日	松瀬学（スポーツジャーナリスト・ノンフィクション作家）	「平和とスポーツ」 ～ラグビーワールドカップ2019に向けて～	
令和元年7月17日	林家三平（落語家） 松村克弥（映画監督） 城之内正明（俳優）	「戦争と演芸」 映画「サクラ花」上映 特別限定高座「出征祝」 トークショー	
令和元年11月9日	スーザン・サザード	スーザン・サザードさんと語る 「朗読会と家族の思い出」	

5 国連軍縮週間「市民のつどい」

10月24日から1週間の「国連軍縮週間」に合わせ、協会が発足した昭和58年から、市民の平和意識の高揚と平和問題への認識を深めることを目的とする「市民のつどい」を開催しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の予防のため、例年行っている戦時食コーナーなどでの飲食物の提供、4部会の企画参加などを中止しましたが、青少年ピースボランティアによるInstagram企画の展示、県外原爆展の写真解説動画の上映、協会SNSのQRコード登録等でのプレゼント提供など、初めての試みに取り組みました。



令和2年度 開催内容

開催日	10月24日（土） ※軍縮週間中の土曜日、世界平和祈念市民大行進に合わせて実施
場所	長崎原爆資料館前階段下広場
コーナー	原爆写真展示、Instagram企画展示、県外原爆展解説等の動画上映、協会コーナー

3 被爆体験を継承する人材育成

1 部会活動

【継承部会（部会員 42人）】

自らの被爆体験や平和への思いなどを、「被爆体験講話」として話しています（詳細は4～5ページ）。

講話以外にも、部会内に事業班を作り、活動しています。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、原爆遺跡研修班による市民対象碑めぐりなどは中止となりましたが、継承交流班による被爆体験の深化講座などは、感染対策を講じながら実施しました。

【国際交流部会（部会員 24人）】

ポットラックパーティーや例会などを毎月開催し、外国の方との相互理解を深めています。年間13人ほどの方からお国を紹介していただき、問題・文化・関心事など多岐にわたる話題を直接聴いたり質問したりして交流を図っています。通訳は部会員が務めます。

また折り鶴の折り方を出前講座で教えることもあります。

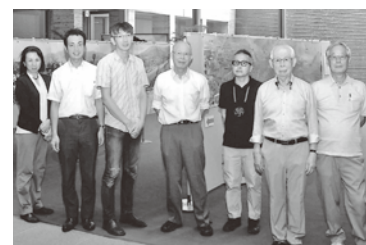
皆様のご参加をいつでもお待ちしております。



【写真資料調査部会（部会員 9人）】

被災写真や平和関連資料の収集と調査・整理とともに、定期的に原爆写真展を開催しています。令和2年度は「パノラマで見る被爆後の長崎」と題し、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館交流ラウンジで開催し、写真解説の代替案として「オンライン原爆写真展」を実施しました。

また長崎市から受託する「米国国立公文書館資料検証業務」の検証作業にも取り組みました。



【音楽部会（部会員17人）】

音楽を通じて平和を訴えることを目的として活動しています。

令和2年度は、7月に被爆75周年記念事業として開催された「長崎平和音楽祭」や「1945 それぞれの8月9日」に参加し、主要メンバーとして活動しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「市民のつどい」等へは参加中止となりました。





2 平和案内人の育成と派遣

原爆投下から75年が経過し、被爆の惨状を知る被爆者も高齢となり、その数も年々少なくなっています。このような現状を踏まえ、協会では長崎原爆資料館や国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、周辺の被爆建造物等のガイドを行う平和案内人の育成・派遣に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、6月末まで常駐ガイドの活動を中止しました。また、延期していた第7期生の育成講座は6月末に再開し、登録した30人が9月より活動を開始しました。

現在、第1期生から第7期生まで165人が登録・活動しています。

【活動内容】

①長崎原爆資料館常駐ガイド（無料）

長崎原爆資料館正面玄関に待機し、案内を希望する来館者を対象に30分～1時間程度、長崎原爆資料館や国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館を案内します。



②長崎原爆資料館予約ガイド（1,500円/平和案内人1人）

学校・一般来館者からの事前申込に対し、長崎原爆資料館と国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館を案内します。お客様10人に対し、ガイド1人を派遣します。

③碑めぐりガイド（1,500円/平和案内人1人）

長崎県内の学校・一般客からの事前申込を受け、お客様10人に対してガイド1人を派遣します。被爆建造物等や平和公園など、希望に応じた箇所を案内します。

令和2年度 活動実績

区分	申込件数	利用者数	ガイド活動人数(延)
常駐ガイド	742件	2,345人	660人
資料館予約ガイド	22件	514人	84人
碑めぐりガイド	87件	2,704人	392人
合計	851件	5,563人	1,136人

※常駐ガイドは6月30日まで中止。
また12月26日～2月21日まで再度活動中止。
資料館ガイドは7月31日、碑めぐりガイドは5月30日まで中止。

【研修活動】

平和案内人の研修や事務局との意見交換のため、年3回程度の全体会を開催する他、各班による自主研修を実施しています。令和2年度の全体会は、感染対策を講じながら、下記の内容で実施しました。

6月20日 感染予防ガイドラインについて

9月26日 「松原の救護列車を伝える会」による朗読劇

【第7期 平和案内人育成講座】 ※令和元年度延期分

令和元年11月23日に第1回講座を開講した第7期生の育成講座は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2月末より実施を延期しました。6月末に再開し、31人が修了しました。



実施期間：6月27日～7月11日（延期分3回の実施）

全体会（9月26日）

3 アジア青年平和交流事業

アジア諸国と日本の若者との交流事業は、平成15年に協会設立20周年の記念事業としてスタートし、長崎と韓国、マレーシアなどの若者がお互いの国を相互訪問して交流を図ってきました。

平成23年度からは、長崎県内の大学生や高校生等の自主企画を対象に公開審査を行い、選ばれた企画を認定して協会から業務委託する「企画採用方式」に変更して実施しています。

令和2年度は、下記の3団体を認定しました。

【令和2年度 認定事業】

長崎純心大学 Green Pieces

長崎在住の外国人7人に戦争・原爆・平和に関するインタビューを行い、国による視点や認識の違いなどを聞き取った。その内容をまとめた冊子を発行した。また、Green Piecesの活動を紹介するウェブサイトを作成した。



長崎大学 Peace Caravan隊

オンラインでの国際交流イベントへの参加の他、オンライン勉強会を開催し、外部を含めて知識の向上を図った。また中学生から初めて学ぶ大人までを主な対象とし、「原爆とは？」を題材にした動画の作成に取り組んだ。



活水高等学校 平和学習部

絵本「ふりそでの少女たち」の物語や、像を作成した中学生らの話をまとめ、英語・韓国語・中国語（繁体字・簡体字）を併記したパンフレットを作成した。また、振袖の折り紙を考案し、折り方紹介の動画を作成した。



4 秋月グラント

平成10年、当協会設立15周年を機に「ナガサキ平和創設グラント」を創設し、平和意識高揚のための事業などを行う団体や個人を助成してきました。

平成16年、協会の初代理事長である故・秋月辰一郎氏を顕彰しようという機運が高まり、「秋月グラント」と名称を改め、多くの方々に助成制度を利用していただけよう門戸を広げました。

令和2年度 秋月グラント事業助成状況

団体・個人名	事業名称	事業目的・内容	実施期間・会場
ピースバトン・ナガサキ	動画で平和学習プログラム—長崎原爆資料館および被爆遺構紹介等作成事業	平和学習の補助教材とするため、原爆資料館等の紹介ビデオを作成し、YouTubeで配信する	4月1日～3月31日
長崎おり鶴再生画用紙子ども絵展実行委員会	長崎おり鶴再生画用紙子ども絵展	平和の祈りが込められたおり鶴の再生画用紙に子どもたちが平和の絵を描き、展示する	10月24～30日 長崎歴史文化博物館
長崎市立矢上小学校	川棚町海軍工廠跡及び矢上地区の戦争遺跡の調査を行い、平和を考える取り組み	川棚町の海軍工廠跡の聞き取り調査とともに、矢上地区の戦争遺跡の調査、結果の広報	11月～1月 川棚町 他

5 共催・後援等事業

令和2年度 共催事業

事業名	主催団体	開催日	開催場所
第35回 長崎平和音楽祭	長崎平和音楽祭実行委員会	7月25日	長崎原爆資料館ホール
国際平和シンポジウム2020 「核兵器廃絶への道」	朝日新聞社、長崎市 (公財)長崎平和推進協会	8月1日	長崎原爆資料館ホール

令和2年度 後援事業

事業名	主催団体	開催日	開催場所
第67回 長崎原爆忌平和祈念俳句大会	長崎原爆忌平和祈念俳句大会 実行委員会	7月25日	長崎原爆資料館 (掲示板)
第58回 原爆忌文芸大会	NPO法人長崎国際文化協会	8月3～10日	長崎ブリックホール
被爆75周年祈念「キッズゲルニカinながさき」 国際子ども平和壁画展	長崎親善人形の会 (瓊子の会)	8月6～31日	原爆落下中心地公園 下の川
ナガサキ 映画と朗読プロジェクト	ナガサキ 映画と 朗読プロジェクト実行委員会	11月14～15日	長崎原爆資料館ホール
第42回 平和の使者 クリスマスカードコンテスト	長崎YMCA 長崎ワイズメンズクラブ	11月23日～12月25日	長崎YMCAほか
平和と祈りのイルミネーション点灯式	浦上平和プロジェクト	12月19日	浦上天主堂下 天主公園
被爆75周年記念 長崎平和祈念講演会	(一社)茶道裏千家淡交会 長崎支部	3月14日	長崎市平和会館ホール

6 語り継ぐ被爆体験（家族・交流証言）推進事業

●長崎市からの受託事業

被爆者の被爆体験を語り継ぐ「家族・交流証言者」を育成し、被爆体験の次世代への継承を推進します。令和2年度も「託したい方」と「受け継ぎたい方」を募集する交流会を実施し、聞き取りや講話原稿・資料作成等を支援する他、パソコン研修や話し方講座など様々な研修も実施しました。

派遣事業では長崎市内に派遣し、毎月第2木曜、第4日曜に行っている原爆資料館内での定期講話は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら実施しました。

令和2年度実施状況

交流会：9月19日（参加者：16人）、9月20日（参加者：12人）

登録者：109人（講話可能者44人、研修者65人）

講話実施回数：68回（長崎市内）



7 青少年ピースボランティア育成事業 ●長崎市からの受託事業

中学生を除く15歳から30歳未満の青少年が被爆の実相や戦争について学び、様々な視点から平和について考え、行動することにより、被爆体験の継承と平和意識の高揚を図ります。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、学習会を才



オンラインでも参加できるようにしました。また、8月9日の平和祈念式典でのボランティア活動の他、オンラインなどでの県外との交流会も実施しました。

令和2年度登録者数：141人（高校生 69人、大学生 41人、社会人13人、その他18人）

8 青少年ピースフォーラム

●長崎市からの受託事業

8月9日の平和祈念式典にあわせて全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年と、地元長崎の青少年とが一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで平和意識の高揚を図ります。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、8月8・9日の開催を中止し、時期を変更してオンラインで開催しました。また例年ホスト役を務める青少年ピースボランティアが中心となって、フォーラムをPRするための動画を作成し、参加を希望する自治体へ配布した他、Youtubeにて配信しました。



令和2年度「オンライン青少年ピースフォーラム2020」

実施日：11月28日

参加者：6自治体（18人）、青少年ピースボランティア（長崎市・11人）

9 青少年平和交流

●長崎市からの受託事業

令和2年度からの新事業で、長崎市内の高校生をハワイへ派遣し、現地の若者との意見交換などで互いに学び合い、世界に向けて原爆の悲惨さや平和の尊さを発信することを目的としています。

世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大による渡航制限のため、派遣は中止となりましたが、オンラインでハワイ大学の学生らとの交流会を実施しました。また事前学習として、被爆体験講話の聴講や、ハワイに関する研修、長崎原爆や現在の核兵器に関する研修などを行いました。



令和2年度 ハワイとの研修（オンライン）

第1回 9月20日 スーザン・サザード×日米高校生意見交換会
ハワイ大学マツナガ平和研究所セミナー

第2回 10月15日 ハワイ大学セミナー

10 国際青年平和フォーラム

●長崎市からの受託事業

被爆75周年事業として、「次世代への継承・平和の発信に向け、取り組んでみたいことは何か」をテーマに交流し、被爆地・長崎に望む取り組みを提言する「国際青年平和フォーラム」をオンラインで開催しました。

長崎の青少年ピースボランティアやナガサキ・ユース代表団をはじめ、千葉・広島・沖縄、マレーシアなど留学生を含む国内外の若者が参加しました。アメリカのキャサリン・サリバン博士による基調講演の他、活動報告や意見交換を実施しました。意見交換で出た意見をまとめた「提言書」を、3月17日に長崎市長へ提出しました。



国際青年平和フォーラム

開催日：2月28日 ※事前学習会を2月21日に実施

参加者：30人



II 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業（主な事業の紹介）

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づいて平成15年に開館した「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」の施設管理と事業運営を国から受託し、様々な事業を行っています。

原爆死没者の氏名・遺影の登録及び死没者名簿の保管

原爆死没者を追悼するとともに、原爆で多くの方が犠牲になった事実を伝えるため、氏名・写真（遺影）を収集し、登録のうえ館内で公開しています。また、原爆死没者の氏名を記載した「原爆死没者名簿」を追悼空間に保管しています。

年度別登録状況
（過去3年分）

年度	遺影 登録者数
平成30年度	343人
令和元年度	329人
令和2年度	232人
累計	9,930人



追悼空間

被爆体験記などの収集・整理・公開

原爆の惨状を多くの人に伝えるため、被爆者が書かれた被爆体験に関する手記・日記・書簡や、遺族・友人らによる追悼記などを集めています。収集した被爆体験記は、遺影・手記閲覧室内の情報端末機器などで公開・展示しています。



遺影・手記閲覧室

令和2年度実績（体験記収集）：48人分（累計481人分）

企画展の開催

所蔵する被爆体験記の中からテーマを定めて選出し、英語・韓国語・中国語に翻訳して展示します。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンライン企画展とし、令和元年度に執筆補助で収集した体験記を8月～12月の毎月9日に、1編ずつ祈念館ウェブサイトで紹介しました。

令和2年度実績：「残したいあの日の記憶 —執筆補助体験記より」

8月9日～12月9日の毎月9日に1編ずつ公開（オンライン開催）

被爆体験記執筆補助

「被爆の記憶を体験記として残したいけれど、自分一人では文章にまとめられない」という被爆者の方を対象として、平成17年度から職員による聞き取りと代筆を実施しています。

令和2年度実績（聞き取り）：6人（累計81人）

被爆体験記朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ 永遠の会」育成・派遣

被爆体験記の朗読によって被爆体験を継承することを目的として、平成23年度から実施しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、8月中旬まで常駐朗読を中止し、毎月9日に行っている「9日を忘れない」は10月から再開しました。いずれも再開時には会場を追悼平和祈念館の交流ラウンジに変更し、アクリル板の設置などを行いました。

また初の試みとして、定期朗読会をオンライン開催とし、来館しないと聴いていただけない被爆体験記朗読を全国の皆さんにお届けしました。

令和2年度実績：常駐朗読52日、定期朗読会1回（オンライン）、派遣朗読21回

家族・交流証言者等派遣

被爆の実相、平和への想いを次世代に語り継ぐため、令和30年度から「家族・交流証言者」および「被爆体験記朗読ボランティア」を全国へ無料で派遣しています。令和2年度から「被爆者」の方の派遣も開始しました。

令和2年度実績：56件（長崎市外・県外）
（被爆体験講話1件、家族・交流証言講話42件、被爆体験記朗読会13件）



平和ボランティア育成外国語講座

平和公園周辺などを外国語で案内するボランティアガイドを育成しています。

令和2年度実績（修了者）：英語8人、韓国・朝鮮語10人、中国語6人

ピースネットの実施

祈念館と遠隔地の学校などをインターネット会議システムで結び、被爆体験講話等を実施しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、修学旅行に来ることができない学校からオンライン修学旅行としての依頼が増加した他、長崎市内や長崎県内の学校に対しても実施しました。

令和2年度実績：38回

海外原爆展の開催

被爆の実相を広く世界に伝えるため、被爆60周年（平成17年）から実施しています。

令和2年度は、オランダ王国ライデン市で開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による渡航制限により被爆者の派遣ができなかったため、被爆体験講話は実施せず、写真等の展示のみとなりました。また会場の日本博物館シーボルトハウスも、オランダの感染防止対策により臨時休館することがあり、会期を延長するなどの対応をしました。



令和2年度実績：オランダ王国ライデン市（日本博物館シーボルトハウス）
9月25日～2月14日（写真展のみの開催・3,281人来場）

アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム

アジアの若者による平和ネットワークの構築・拡大を目指しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による渡航制限のため、国内外の学生を招聘することができず、前回参加者による「フィードバックセミナー」をオンラインで実施しました。この1年の取り組みについて、発表・意見交換を行いました。



APN フィードバックセミナー

開催日：2月27日（オンライン）参加者：9か国20人

- 被ばく医療関連情報の収集・整理・提供（被爆者健康講話）は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止しました。

Ⅲ 収益事業（図書など販売）

平和推進事業の実施に必要な自主財源を確保するために、原爆に関する書籍や平和グッズを作製しています。

協会ウェブサイトでは協会発行の出版物・オリジナル商品などを紹介し、オンライン販売を行っています。また長崎原爆資料館内のミュージアムショップでも委託契約で販売しています。令和2年度には、被爆75周年を記念して「増補改訂版 長崎の原爆遺跡・慰霊碑ウォークマップ」を発刊しました。



図書・グッズ販売ページ URL <https://www.peace-wing-n.or.jp/shop/>

【協会発行の出版物・オリジナル商品など取扱商品一覧】

- 書籍 ・ 増補改訂版 長崎の原爆遺跡・慰霊碑ウォークマップ ・ 原爆被爆記録写真集
- ・ 長崎原爆資料館 資料館見学・被爆地めぐり「平和学習」の手引書 ・ ながさき原爆の記録
- ・ ナガサキの記憶（中国語版） ・ ピーストーク（第8巻・第10巻）
- 商品 ・ 絵はがき（長崎原爆資料館） ・ 折り紙 ・ 折鶴ストラップ ・ 缶バッジ（2色）
- ・ キーホルダー（2種） ・ クリアホルダー（4色） ・ Tシャツ（龍柄2色・Peaceロゴ3色）
- ・ トートバッグ（2色） ・ ピンバッジ（2種） ・ マグネット
- ・ ミニタオル（あじさい柄2色・折鶴柄2色） ・ リストバンド
- ・ 折り鶴再生紙商品（一筆箋・名刺台紙（2種）・A4用紙・A4賞状用紙・A6リングノート）
- ・ 紙芝居「嘉代子桜」 ・ ながさき平和学習ナビ

会員制度 賛助会員一覧（団体・法人 敬称略）

旭丘高校の教育を守る会／朝日地区民生委員児童委員協議会／(株)イシマル／(株)岩永印刷所／岩屋地区民生委員児童委員協議会／(株)インテックス／(学)ヴィアートル学園 洛星中学校／(株)NDK COM／(株)エビス堂／扇精光ホールディングス(株)／押測クリニック／オックス総合リース(有)／オリエンタルビル管理(株)／核戦争防止国際医師会議 長崎県支部／核兵器廃絶・平和建設 長崎県民会議／勝山地区民生委員児童委員協議会／カトリック長崎大司教区／上長崎地区民生委員協議会／機電プラント工事(株)／九州教具(株)／(株)九州広告／(一財)九州電気保安協会／九州労働金庫／崎陽電気(有)／共楽園緑化建設(株)／協和機電工業(株)／(株)クイックプリント／(医)倉田醫院内科婦人科／(一財)クリーンながさき／(医)行清会 鍛先医院／KNT-CTホールディングス(株)／原水爆禁止長崎県協議会／原水爆禁止長崎県民会議／原爆被爆者特別養護ホーム かめだけ／光源寺／小神立神地区民生委員児童委員協議会／西部ガス労働組合 長崎支部／さかい酒舎／坂本地区民生委員児童委員協議会／(株)三工電機／(株)JR長崎シティ／自治労長崎市役所職員労働組合連合会／(株)事務機のミカドヤ／(株)ジャック・インターナショナル／(株)十八親和銀行／純心中学校・純心女子高等学校／常在寺／(株)城保安警備／情報労連長崎県協議会／(株)昭和堂／ジョンソンコントロールズ(株)／新興善地区民生委員児童委員協議会／(株)スターライト／(同)スローフードファクトリー長崎あぐりの丘／(有)正文社印刷所／(株)せがわ住機／SEVEN HEARTS／全国公益法人協会／(株)大和総業／高尾地区民生委員児童委員協議会／(株)司コーポレーション／(株)ディープリンク／田園調布雙葉中学高等学校 学校行事部／土井首地区民生委員児童委員協議会／桃原寺／東武トップツアーズ(株)／(一社)東友会／磨屋地区民生委員児童委員協議会／(一財)長崎YMCA／(株)長崎ガードシステム／(株)長崎環境美化／長崎県映画センター／(一財)長崎県教育会／長崎県建設産業労働組合／(公財)長崎原子爆弾被爆者対策協議会／長崎県生活協同組合連合会／(一財)長崎県地域婦人団体連絡協議会／長崎原爆遺族会／長崎県被爆者手帳友の会／長崎県平和運動センター／(一社)長崎国際観光コンベンション協会／長崎市管工業協同組合／(一財)長崎市勤労者サービスセンター／(福)長崎市社会福祉協議会／長崎市小学校校長会／(公社)長崎市シルバー人材センター／長崎市中学校校長会／長崎自動車(株)／(一社)長崎市保育会／長崎市役所従業員組合／長崎市役所職員生活協同組合／(株)長崎消毒社／長崎市老人クラブ連合会／(株)長崎新聞社／(一社)長崎青年会議所／(一社)長崎青年協会／長崎西彼農業協同組合／長崎ダイヤモンドスタッフ(株)／長崎地区労働組合会議／長崎電気軌道(株)／長崎放送(株)／(医)緑風会 長崎みどり病院／(医)光善会 長崎百合野病院／(福)友愛会 長崎リハビリテーション／(有)ナカノコーポレーション／滑石地区民生委員児童委員協議会／日本通運(株)長崎支店／日本空調サービス(株)九州支店／日本図書輸送(株)長崎営業所／日本放送協会 長崎放送局／日本労働組合総連合会長崎県連合会／(株)橋本商会／(医)林医院／(特非)ピースデポ／ピースポート／(株)日立ビルシステム／(一財)広島国際文化財団／(株)福広／(株)プロダクションナップ／ページワンプランニング(株)／寶來軒／丸美産業(株)／ミライト(株)／(福)純心聖母会 恵の丘長崎原爆ホーム／山里地区民生委員児童委員協議会／(株)大和屋／(社福)基督教友愛館 友愛富士町保育園／(株)ユースフル

公益財団法人 長崎平和推進協会 この一年の動き

4月

- 1日～ 平和案内人、家族・交流証言者、永遠の会 活動中止
(2月末からの継続)
- 3日 継承部会員による被爆体験講話の休止決定 (7月末まで)

5月

- 7日 第1回 運営会議 (書類送付)
- 29日 第1回 通常理事会 決議の省略 (書面決議)

6月

- 1日 追悼平和祈念館再開
平和案内人 碑めぐり予約ガイド再開
家族・交流証言者 県内派遣及び定期講話再開
- 12日 第1回 定時評議員会 決議の省略 (書面決議)
- 20日 第1回 平和案内人全体会
第1回 青少年ピースボランティア学習会 ※以降、毎月実施
- 27日 第7期 平和案内人育成講座 再開 (第13～15回)



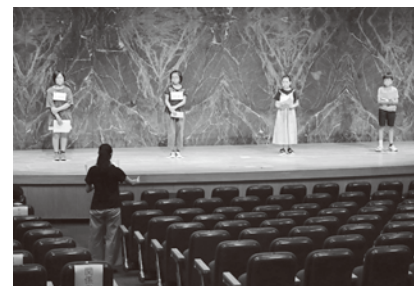
追悼平和祈念館 臨時休館
(～5月31日)



青少年ピースボランティア学習会 (6月)

7月

- 1日 第1回 継承部会総会
平和案内人 常駐ガイド再開
- 9日 青少年ピースボランティア Instagram企画開始
- 12日 「夏の雲は忘れない」 児童オーディション
- 18日 第1回 国際交流の夕べ (国際交流部会) ※以降、毎月実施
- 31日～8月11日 原爆写真展「パノラマで見る被爆後の長崎」開催
(写真資料調査部会)



「夏の雲は忘れない」 児童オーディション
(7月12日)

8月

- 1日 継承部会 被爆体験講話再開
平和案内人 資料館予約ガイド再開 →全面活動実施
- 2日 第4回 被爆体験の深化講座
オンライン原爆写真展 (写真資料調査部会)
- 9日 Instagram企画「未来へ伝えたい被爆者の言葉」展示 (平和公園)
- 13日 永遠の会 常駐朗読再開
- 22日 平和案内人 (第7期生) オリエンテーション
- 30日 原爆朗読劇「夏の雲は忘れない」2020 特別編 in Nagasaki



原爆写真展 (7月31日～8月11日)

9月

- 1日 平和案内人 (第7期生) 活動開始
- 13日 アジア青年平和交流事業 発表・審査会
- 19・20日 家族・交流証言事業 交流会
- 20日 青少年平和交流オンラインセミナー
- 25日～2月14日 海外原爆展 (オランダ)
- 26日 第2回 平和案内人全体会



10月

- 1日 第2回 運営会議
- 9日 永遠の会 「9日を忘れない」再開 ※以降、毎月実施
- 15日 青少年平和交流オンラインセミナー
- 24日 市民のつどい



9日を忘れない（10月9日）

11月

- 1日 第5回 被爆体験の深化講座
- 28日 青少年ピースフォーラム（オンライン開催）
- 29日 家族・交流証言事業研修
「被爆体験と戦時中の食生活について」



家族・交流証言事業研修（11月29日）

12月

- 5日 青少年ピースボランティア 福岡研修（大刀洗など）
- 6日 第16回 オンライン定期朗読会（永遠の会）
- 26日 平和案内人・永遠の会 常駐活動中止
- 27日 家族・交流証言者 定期講話中止

1月

- 9日 青少年ピースボランティア 広島研修①（オンライン）
永遠の会 「9日を忘れない」中止（～3月）
- 16日 第3回 平和案内人全体会 中止
- 21～26日 県外原爆展（写真・資料展示）中止（九州大学）
- 23日 オンライン被爆体験講話（九州大学原爆展）



第3回運営会議（3月11日）

2月

- 6日 青少年ピースボランティア 広島研修②（オンライン）
- 13日 青少年ピースボランティア 広島研修③（オンライン）
第6回 被爆体験の深化講座 延期
- 22日 平和案内人 常駐ガイド再開
- 28日 国際青年平和フォーラム

3月

- 6日 アジア青年平和交流事業 活動報告会
- 11日 第3回 運営会議
家族・交流証言者 定期講話再開
- 13日 永遠の会 常駐朗読再開
- 19日 第2回 継承部会総会
- 22日 第2回 通常理事会 決議の省略（書面決議）
- 29日 国際基督教大学、長崎大学との協定書調印式



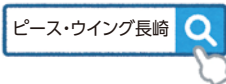
国際基督教大学・長崎大学との協定書調印式
（3月29日）



平和のシンボル「はと」を官と民を示す両手が
受け止めている様子を表しています。

(公財)長崎平和推進協会

〒852-8117 長崎市平野町7番8号
電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
URL:<https://www.peace-wing-n.or.jp/>



 (公財)長崎平和推進協会 公式LINE



PEACE_WING0809

(公財)長崎平和推進協会 公式Instagram



 (公財)長崎平和推進協会 公式YouTube

会員募集中

協会会員になって、一緒に平和の輪を広げましょう!